

早期景気観測調査

【2-3月期 調査結果概要報告書】

平成27年6月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成27年3月17日(火)～31日(火)
4. 調査対象： 当所会員 157事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 116
7. 有効回答率： 73.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第2位で四捨五入

◆結果概要

【2・3 月期の動き】

**各項目における DI 値は改善するも、懸念材料の多さ等から景気回復感は薄い。
来期は若干の業況悪化を見通す。**

2－3月期の全業種総合の業況DIは▲10.3と前期から20.1ポイントの大幅な改善となった。しかし、これは比較対象となる前年同期において大雪による雪害というマイナス要因があったことが大きい。今期のDI値は従業員、金融貸出しDI以外マイナス水準に留まっていることや、人手不足やコスト上昇、客足の減少などの懸念材料の多さから景気回復感は薄い。今後の先行きに関してはやや悪化となる見通しだ。

業種別では建設業を除く全ての業種で業況改善となった。また、昨年3月は主に製造業・小売業の一部が駆け込み需要により売上を伸ばしていたため、今期の売上DIが悪化となった要因の一つとして考えられる。製造業では売上DIが▲21.4ポイントと前期比18.1ポイントの悪化となっている一方、3期ぶりに業況DIが改善に転じている。

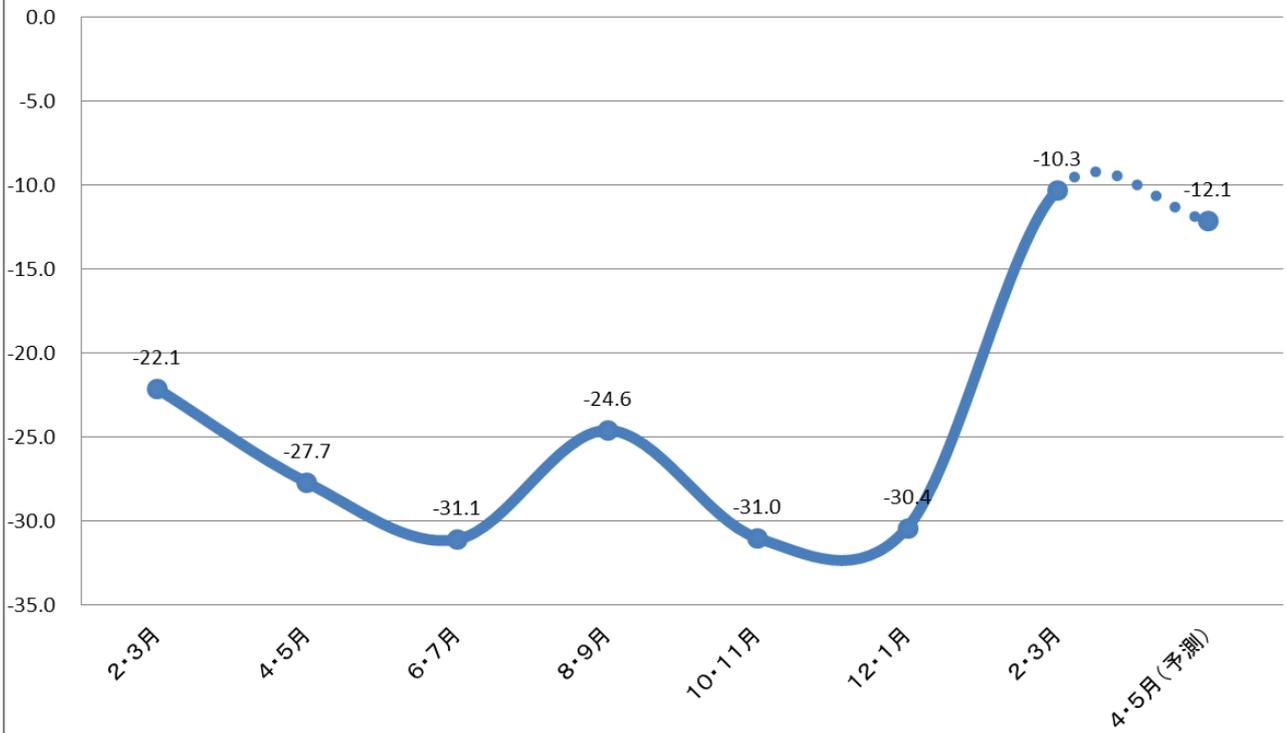
建設業は業種別では唯一悪化に転じた。売上、採算、仕入単価の各DI値は前期より改善してはいるものの、慢性的な人手不足からか業況判断は慎重な結果となった。

卸売業は2期連続の業況改善となり、およそ3年ぶりにマイナス水準から脱した。前年同期は雪害の影響が大きく、各DI値は前期からの改善が見られるものの、原材料高の影響からか仕入単価DIは低水準に留まっている。

小売業は業況こそ改善の判断となったが、売上DI、採算DIは悪化に転じている。製造業同様、前年同期は駆け込み需要があったことと、昨今の消費の冷え込みが要因とみられる。

サービス業は業況DI前期比+57.2ポイントで大幅に改善。マイナス水準を脱し、観光・宿泊・飲食とそれぞれ雪害の影響が強かった昨年からの持ち直しが見られる。

業況DIの推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」(改善)と表示しております。

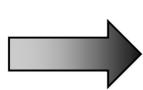
◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲10.3	▲12.1	▲18.1	▲27.6	▲41.4	12.1	1.7

2-3月期の全業種総合の業況D I は、**▲10.3** (前期比+20.1ポイント) となり、2期連続で改善となった。項目ごとでは売上D I がおよそ15ポイントの大幅な改善を見せた。採算・仕入れ単価D I もそれぞれ10ポイント程度、従業員・金融貸出しD I も小幅ながらそれぞれ前期より改善となり、今期は全ての項目において前期から改善という結果になった。しかし先行きに関しては、▲12.1と若干の悪化を予測している。

◆ 業種別

製造業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲14.3	▲14.3	▲21.4	▲28.6	▲39.3	7.1	▲3.6

業況DⅠは、3期ぶりの改善に転じ、(前期比+12.4ポイント)となった。仕入単価・従業員DⅠは改善の動きを見せているが、その一方で売上DⅠは18.1ポイントの大幅な悪化となった。採算・金融貸出しDⅠについてもわずかながら悪化となった。

業況の先行きに関しては、横ばいの見通しとなっている。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲25.0	▲30.0	▲25.0	▲25.0	▲65.0	20.0	5.0

業況DⅠは他の全ての業種が改善という結果となる中、唯一の悪化となった(前期比-7.4ポイント)。売上、採算、仕入単価の各DⅠ値は前期からそれぞれ改善となっており、仕入単価、採算DⅠは2期連続で改善となった。しかし仕入単価DⅠは▲65.0ポイントと、改善に向かってはいるが低い水準が続いている。また、人手不足が叫ばれる中、従業員DⅠは2期連続の悪化となり、金融貸出しDⅠも若干の悪化となった。

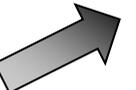
先行きに関しては、悪化を予測している。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
15.8	▲5.3	10.5	▲10.5	▲31.6	15.8	21.1

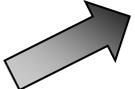
業況D Iは2期連続の改善（前期比+36.9ポイント）となり、およそ3年ぶりにマイナス水準を脱した。また、売上、採算D Iは共に2期連続の改善となった。しかし、仕入単価D Iは10.5ポイントの悪化となり、前期で懸念されていた円安の影響が覗える。また従業員D Iは悪化に転じている一方、金融貸出しD Iは26ポイント以上の大幅な改善となった。業況の先行きは悪化に転じ、再びマイナス水準に突入する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲32.3	▲25.8	▲51.6	▲64.5	▲38.7	6.5	▲3.2

業況D Iは前期比+12.5ポイントの改善となった。仕入単価D Iは前期比+20ポイント程の改善となったが、売上、採算、従業員D Iはそれぞれ悪化へ転じており、消費減退の影響が見られる。金融貸出しD Iは小幅ながら改善へ転じた。先行きに関しては、改善を予測している。

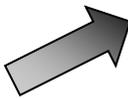
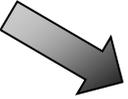
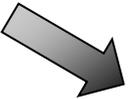
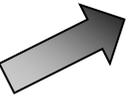
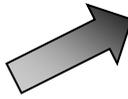
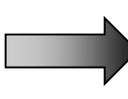
サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
22.2	27.8	22.2	16.7	▲33.3	16.7	▲5.6

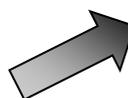
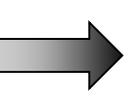
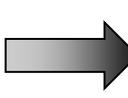
業況D Iは前期比+57.2ポイントで改善に転じた。売上D Iは前期比+75.2ポイント、採算D Iも前期比+61.7ポイントと、それぞれマイナス水準を脱し、大幅な改善となった。仕入単価D Iにおいてもマイナス水準から脱するまではいかないものの、改善へと転じている。従業員D Iは小幅ながらも2期連続の改善となっているが、金融貸出しD Iについては悪化に転じた。先行きは改善を見込んでいる。

◆ 業種別詳細

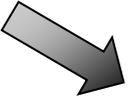
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

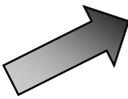
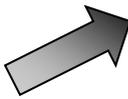
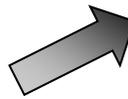
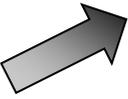
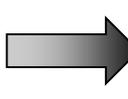
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

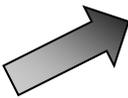
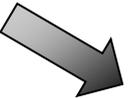
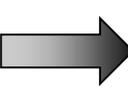
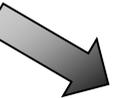
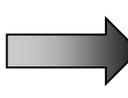
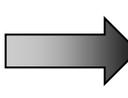
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

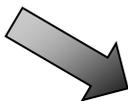
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

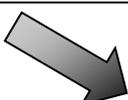
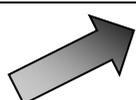
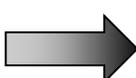
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

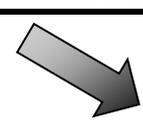
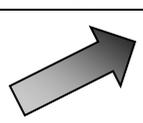
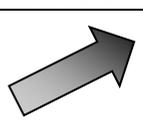
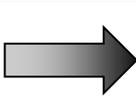
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

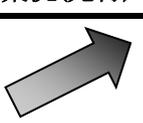
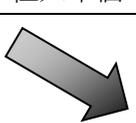
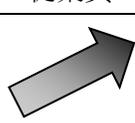
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

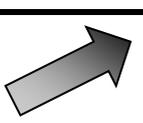
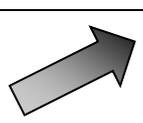
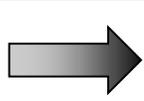
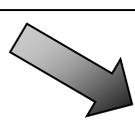
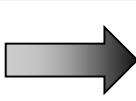
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

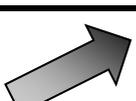
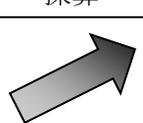
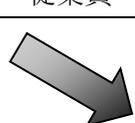
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

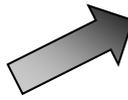
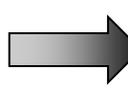
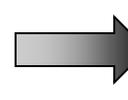
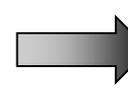
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

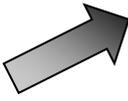
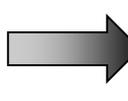
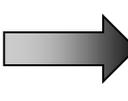
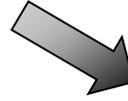
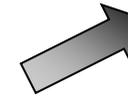
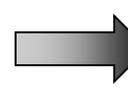
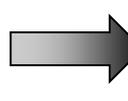
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

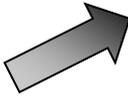
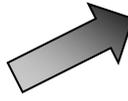
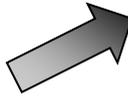
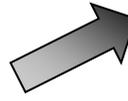
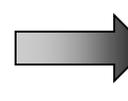
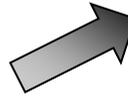
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

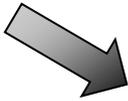
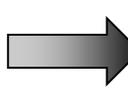
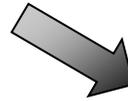
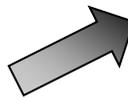
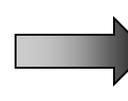
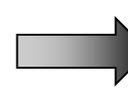
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

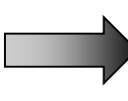
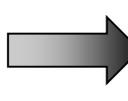
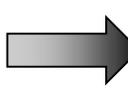
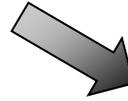
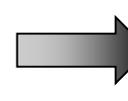
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

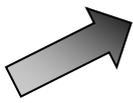
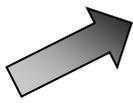
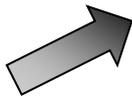
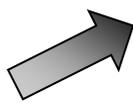
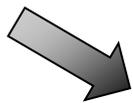
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

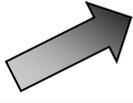
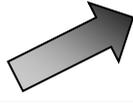
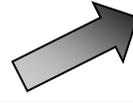
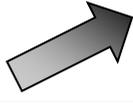
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

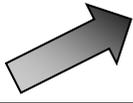
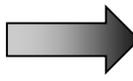
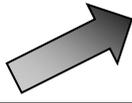
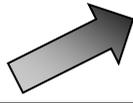
サービス (ホテル・旅館)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (観光)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業 (飲食その他)

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・ 昨年は雪害により売上はもちろん、設備においても大きな影響があった。工場見学のバス等は順調に集客はあるが売上は増加していない。これから4・5月とまだまだ厳しい月が続くと思われる。

製造業（家具）

- ・ 不安定要素が多く、今後の業況判断は不可能。

製造業（工業製品）

- ・ 3月は少し動きが悪い様子。夏に向けてものづくりの活気が県外から入ってくる様相。県内はメーカーが無いという悪点で全国との温度差有り。
- ・ 仕入れ単価・物価上昇が懸念される。
- ・ 大手スマホメーカーへの製品供給が急激に立ち上がり前年同期より業績が好転しつつあるが、この流れがいつまで持続するかを予測することは非常に難しい。中国の新興メーカーを含めた大手3社がシェア争いで鎬を削っているが、価格引き下げ圧力は極めて強く、又我々同業者間の競争も激しい。

製造業（宝飾）

- ・ 前年同期は消費税増税の駆け込みが多く、落ち込みを考えていたが、株価が高いこと、賃金上がることへの期待感からか、心理的なプラスがあり持ち直している。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・ 前年は消費税増税前の駆け込み需要が多く、昨年比較では大きく悪化しているが、一昨年ベースではほぼ順調に推移している。

卸売業（その他）

- ・ 2月（3月）は、昨年に豪雪の影響が大きかったことから、前年比では好転となるが、それを差し引くと必ずしも好転とは言えない。

卸売業（繊維）

- ・ 前年は大雪の為、1～2週間仕事にならなかった。

【小 売 業】

小売業（食料品）

- ・値上げラッシュ（特に輸入品）による買い控え、消費減。
- ・菓子業界全国で廃業が多く発生している様子だ。売上の減少、高齢化、不景気、原材料の上昇。

小売業（趣味・日用品）

- ・天候もあろうが通りの人通りも少なく客足も何とも少ない。
- ・都心の一部では高級品・高額品の動きは良いようだが、地方はまだまだ厳しい状況。

小売業（家電）

- ・ケーブルの盗難事故が散発している。

【サ ー ビ ス 業】

サービス業（ホテル、旅館）

- ・昨年と比較すると大分悪い。外国人が多数日本に来ており、富士山周辺だけでなく甲府にも足を運んでもらえるようなランドマーク的なものが欲しいと感じる。何か観光の目玉となる（例えば甲府城など長い目で見て欲しいと感じる）ものが欲しい。武田神社昇仙峡だけでは寂しすぎる。

サービス業（観光）

- ・例年より観光客が少ない。
- ・昨年は大雪の影響があったので打撃を受けたが、例年並みの客数に今年は回復したので採算は取れたと思う。
- ・2月については、前年の大雪の影響から売り上げが大幅に回復。一方で、3月は前年消費増税前の駆け込み需要があり、今年は平年ベースに戻る見込み。

サービス業（飲食その他）

- ・昨年の2月は大雪で商売にならず比較の対象外である。しかし昨年の2月迄は回復せず4月の選挙の影響か3月も今一つ盛り上がりず。
- ・3月、4月は歓送迎会シーズンで活況だが、5月以降は例年落ち込む。人手不足が続いており、売上にも影響している。

【建設業】

建設業（建築）

- 相変わらず契約額は厳しく収支トントン。非木造サッシの分解ではメジャーな業種ではなく若い人材の確保が非常に困難な現状である。土日祭日関係なく工期との戦いで就労人口が少なくなることが今後予想される。

建設業（土木）

- 世の中の景気の動きが悪く、統一地方選選挙のある年は1年通して前期は駄目、後期に期待するしかない。

建設業（鉄鋼）

- 下請労務単価が上昇につき、外注費上昇。
- 5月以降の見積もりが少なく、どんな具合か心配している